

G3 のツイッター その 54

烈剛河内 竹井 保満

今年の夏は暑さ続きの後の台風と大変でした。2年後に行われる東京オリンピックもこの暑さを懸念して、サマータイムを導入するとか、競技時間を繰り上げるのとか騒がしいことです。それに合わせる選手も大変だと思います。2006の北京オリンピックでは、開会式の日には雨が降らないようにと北京の付近の上空にある雲に対してロケットでヨウ化銀を散布して雨を降らし、当日、北京を快晴にした話は有名です。このように天候や気温を操作することは出来ないのでしょうか。

先週 NHK の科学番組を見ました。「キノコが雨を降らす」というタイトルです。金沢大学の、牧輝弥先生の研究です。キノコの菌類は10万種以上もあるそうで、その菌が水蒸気とともに空高く舞い上がり、冷えて水蒸気の核に成り氷となって降ってくるのだそうです。上空7000メートル以上では菌は少なく無機の核だそうですが、低い空では、バイオエアロゾルと称する菌類とのことです。先生の実験は、筑波実験植物園での菌探しに始まり、ビルの屋上、飛行機による上空の菌類の分布図づくりと実験を面白く拝見しました。来る東京オリンピックまでに涼しい雨を適度に降らせてほしいと願っています。

キノコが雨を降らせて地面にキノコが生えやすくするのか、雨が降るからキノコが生えるのか、キノコに意思があるようにも思えます。

最近買った本に「心を操る寄生生物」と言うのがありました。本の中の一例ですが、水鳥が魚を食べて糞をします。その糞の中に寄生生物がおり、その水を飲んで寄生生物に犯された魚が水鳥に食べてくれといわんばかりに、飛び跳ねたり横になったりして銀輪を輝かせます。寄生虫が魚の脳神経を犯し危険を感じなくなるのだそうです。

チョット心配なのが、猫が媒体する寄生生物にトキソプラズマがあります。トキソプラズマに脳を犯されたネズミは、猫を怖がらず猫に寄ってきます。人間もこのトキソプラズマに犯されると大胆になり、交通事故を起こす件数が増すそうです。特に妊婦さんが感染すると脳に異常のある赤ちゃんが生まれる可能性が高いとの事です。

然し乍ら愛猫家は猫に色々と癒されると言っています。結論はどう出るのでしょうか気になるところです。

有料老人ホームと言う籠の鳥の様な生活なって4か月になります。中々環境に馴染めませんが、1週間に3回のジムでのトレーニングが心身ともに解放された時間です。少しずつ籠を壊して大空に羽ばたきたいと思っている今日この頃です。